

76 シシガキ

(黒田庄町門柳)

みどころいっぱい・西脇 ふるさと探訪



▲大小さまざまな石が積み上げられている

▲集落を囲むように築かれたシシガキ



イノシシと人間のかかわりは農耕が伝わる以前から続いており、縄文時代の貝塚からはその骨が多数発掘されています。牡丹とも呼ばれる肉は重宝される一方で、里山の環境はイノシシの生息に適していることから農作物への被害が多く、古来、農民はさまざまな方法で農林被害を減らしてきました。

シシガキとは山のふもとに石を積み重ねて作った垣のことで、イノシシやシカなどの田畑への侵入阻止を目的に築かれました。黒田庄町門柳の集落を取り囲むように築かれているシシガキは、天明年間（1781～1788年）の大飢饉の際に、三草藩が農民の救済事業として行ったと伝えられています。

編集室から



先日、東日本大震災で被災した知人から手紙が届きました。その知人の故郷は、原発事故により20km警戒区域に指定され、立ち入りを禁じられている地域です。津波からは家族全員が難を逃れたが現在は避難生活をしているとの内容。手紙には「今では、当たり前だった毎日がどんなに素晴らしいものだったのかを改めて感じる。もう元には戻らないと頭ではわかっている、心がどうしようもなく苦しい時がある。」と被災者の切実な思いが記されていました。先月17日、阪神淡路大震災から丸17年を迎えました。まちは何事もなかったかのように復興を遂げていますが、今も「苦しい時」を感じる方も多いのではと改めて考えさせられました。手紙の結びには「前を向いて進めるように、今年はいいことがありますように」とありました。被災者の皆さんの苦しみが少しでも和らぐよう心から願います。

2月19日に開催される西脇多可新人高校駅伝大会には、福島県から4チームをお迎えします。西脇市からも精一杯のエールを送りましょう。【H】

今月の一枚



うっすら雪化粧の住吉水車村。市内で積雪するのは年に数回なのでこのチャンスを逃すまいとカメラを持って出かけました…。

発行／西脇市
編集／総務部秘書広報課

〒677-8511 西脇市郷瀬町605
TEL.0795(22)3111 FAX.0795(22)1014
西脇市HP / <http://www.city.nishiwaki.hyogo.jp>

西脇の自然

シャシャンボ (つつじ科)



西脇市動植物生態調査 研究グループ

初夏に白色でつぼ型の花を下向きに多数つけ、秋には小さな黒い実になります。枝にたくさんついた様子を小さな坊やになぞらえて「小（こ）ん坊」と呼んだもので「子（こ）ん坊」とも書きます。

市内ではあまり見かけませんが、仲間にはスノキ（スイスイ）やナツハゼ（チヨロムケ）など、高山帯にはクロマメノキもあり、山歩きや散歩の時、のどが渇くと、葉や実を摘んで食べると渇きがしのげたものです。

最近、ブルーベリーの宣伝をよく見ますが、これも仲間の一つです。実をジャムやゼリー、パイ、果実酒などに加工して利用します。

西脇多可休日急患センター

- ◆ところ 西脇市下戸田652-1 西脇病院救急外来室
- ◆診察日 日曜日
(年末年始を除く)
午前9時～午後5時

- ◆問合せ ☎23-5380
- ※病状やけがの様子など、電話であらかじめご連絡ください。
必ず健康保険証を持参ください。

2月の出務予定医師

2月 5日(日)	上田 正生 先生
2月12日(日)	畑澤 幸雄 先生
2月19日(日)	柳井 映二 先生
2月26日(日)	大隅 昭幸 先生